

乙訓青年会議所は34年もの間、先輩諸兄が絶え間なく勤しまれ、脈々と受け継がれてきた歴史と伝統を守り、発展させつつ活動されてきました。設立当初からの理念である「明るい豊かな社会」の実現に近づく為には高い志を持った同志を一人でも多く増やす必要があります、会員拡大は我々の責務であると考えます。乙訓青年会議所は昨年度15名が卒業され、本年度12名のメンバーが卒業を迎える中、会員数の減少は事業の実施や組織の運営にも影響を及ぼします。私が考える青年会議所活動の魅力は三信条で掲げられている「奉仕、修練、友情」を身をもって経験し、そこで得られる気付きや学びそして感動であり、これらは何物にも代え難い自己の成長に繋がると確信しています。この経験を次の世代にしっかりと伝え、乙訓青年会議所の更なる発展の為にLOMメンバー全員で会員拡大活動に取り組まなければなりません。

本年度は入会目標を20名と掲げます。この人数は乙訓青年会議所全体がベクトルを揃えて行動すれば夢のような数字ではありません。有名な言葉に「一人で見るとはただの夢、皆で見るとは現実になる」とあります。メンバー全員が何の為に拡大するのかを考え、一人ひとりが目標必達の意識で行動すれば必ず達成出来ます。その為の手法として、まずは委員会メンバーの意識を高め、昨年度からの会員拡大データやリストを引き継ぎ、乙訓地域を拠点として活動する様々な団体や特別会員からの情報収集を行い、幅広く拡大の声を大にし、魅力や活動内容を積極的に伝えます。その中で、2月例会では、乙訓青年会議所の会員である事に誇りを持ち、会員拡大の重要性を理解して頂き、全メンバーが意識を高め「不動の心」を持って、拡大活動に取り組む事が出来る様に関心致します。そして、乙訓JC説明会では乙訓青年会議所の歴史、理念、活動を年齢に関わらず伝え、経験の異なる現役メンバーとの意見交換を行い、JC運動への興味や魅力を感じて頂く事で入会への決意や紹介に繋がります。さらに、新入会員のフォローアップも率先して行います。FTセミナーでは5年後、10年後を見据えた上でFMメンバーに今後のJC活動を有意義な物にして頂く為に青年会議所に対する理解を深め、活動意識を高めて頂く事を目的とし、メンバー全員が課題に取り組み協力し合い、切磋琢磨する事で友情を育てて頂きます。また、様々な業種の方と意見交換が出来る異業種交流会を開催致します。そして1年間を通して委員会メンバーで35周年事業、式典、まちづくり事業、青少年育成事業にも積極的に参加し、協力、連携して参ります。

結びに、当委員会ではどんな困難にも前向きに楽しみながら取り組み、メンバー同士の絆や友情を築き、私自身が率先して行動し、委員会メンバー全員が「未来への原動力」となれる様に活動します。そして活気ある乙訓青年会議所であり続ける為に、「不動の心」を持って一人でも多くの同志を募るよう邁進して参ります。